

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年10月10日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	46703020
法人名	医療法人春風会
事業所名	グループホーム明和の家
所在地	鹿児島市明和5丁目1-15 (電話) 099-218-9121
自己評価作成日	平成30年8月4日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成30年9月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

エレベーターが無くても職員の手作りのシートベルトを使用して椅子ごと階段昇降の支援を行っております。また、手すりを伝って階段昇降され、外出や行事への参加が支援できております。今年度は「バザー」を開催し、ご自身で品定めをしてお金の計算を職員と共に行い、金券で購入される等大盛況でした。また、バイキングでは自分で皿を持ち選択し自席まで運び「取り過ぎた～残してごめんね～」と言われ大好評でした。職員の様々なアイデアで季節を感じて頂くように努めております

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

市内の高台の団地に位置しているため、景観は素晴らしく桜島が一望できる。母体法人による研修は年間計画となっており、外部研修やホーム独自の研修もあり、職員の質の向上に向けた勉強会やスキルアップには積極的である。

地域とは、回覧板の活用で情報収集をしたり、地域の学生やボランティア・実習生を受け入れている。子供の頃から認知症にふれる事や、認知症の方に実際に接していない看護学生を受け入れ、認知症への理解を深めてもらっている。

災害対策では、火災のみならず地震風水害や地形からは地滑りまで想定して、訓練を行っている。地域や家族の参加もあり、訓練後は「気づき」を基に反省会を行い、今後に活かしている。

管理者は職員や家族とは「何でも言い合える関係作り」ができていいる事から、いろいろな意向や要望を聞き、運営に反映させている。

また職員とは個別の相談を受ける事や、相談しやすい関係作りも出来ている等、利用者や家族の思いに寄り添いながら、管理者と職員は今後も更にサービスの質の向上に向けて取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人全体の理念と、明和の家独自の理念を毎朝唱和し、ケアへの振り返りにつなげています	法人の理念とは別にグループホーム独自の理念を職員と話し合っ作成した。ミーティングや申し送り時に唱和している。職員は理念を共有する事で意識をもってケアへの実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域への情報発信として、回覧版や町内会への参加を行い、日常的な関わりを持つ事を意識しております	町内会に加入し、総会や地区の清掃活動へ参加したり、回覧板の活用で地域の情報収集を行い、体験学習やボランティア・実習生の受入れを行っている。駐車場を地域に開放するなど日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	ボランティアや地域の職場体験学習・看護学校実習生を受け入れる事で、認知症への理解を深めて頂けるように努めております		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にはご家族様にも交代で参加して頂き、取り組み等の現況を報告し、ご意見を頂く事でサービス向上に努めております	2ヶ月毎の定例会議には多くの方に参加をもらっている。議題はホームが提示し、現況報告・行事報告やヒヤリハット報告をし、参加者とは活発な意見交換を行っている。出された意見を基にサービスの向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	必要に応じて市町村に出かけたり、電話での相談を行ない、ケアサービスの取り組み等について助言を頂いております	運営推進会議に出席してもらったり、市担当者とは面談や電話などで指導や助言を頂いている。市が開催する研修会へも積極的に参加して協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会主催の研修は毎月開催しておりますが、今年度は参加するだけではなく研修報告書を必ず管理者へ提出する事で、学びを高めるようにしております	外部研修とは別に、毎月の内部研修を行っている。日中は施錠せず職員間の見守りで安全な暮らしを支援している。言葉の拘束についても皆で話し合い共通意識を持つ事で、身体拘束をしないケアを実践している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年間研修計画には、必ず高齢者虐待の研修を取り入れ、研修案内は回覧し、参加希望者を募り、参加後は発表する事で職員の意識を高め、防止に努めております		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	年間研修計画に、成年後見人制度の研修についても組み込み、それ以外にも研修案内等を回覧・参加に努めております		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居相談時に契約の大まかな説明を行い、不安や疑問点をお聞きし、納得されてから締結に至るように努めております		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置しております。面会時には本人の暮らしぶり等を報告し、頂いたご意見等は運営推進会議にて報告し、運営に活かすように致しております	利用者からは日々の暮らしの中で意見・要望をくみ取る様に努めている。家族からは面会時や電話また運営推進会議や家族会などで何でも言い合える、話しやすい雰囲気作りに努めている。出された意見・要望は解決策を話し合いケアや運営に反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	の意見を代表者に管理者会議で報告したり、ipadや携帯でも気軽に相談できる体制が整っております	毎月のスタッフ会議で、職員は日々のケアに関する意見・提案を出している。管理者は、働きやすい環境作り・話しやすい雰囲気作りに心掛け運営やケアに反映させている。職員の資格取得にも支援している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	処遇改善手当やサービス提供加算、稼働率が給与に反映される事で職員も稼働率維持に関心を持っております。子育て支援として希望の勤務シフトを優先しております		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>今年度は各自研修カードを作成し、自分で参加したい研修を探して申し込みを行い、必要な研修費用については、稟議書を上げて負担して頂く体制が整っております</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>勤務助勢等を通じて交流が深まり、本部での研修時にはさらにグループワーク等を通じて交流を深め、お互いのGHにも関心を持ちサービス向上に努めております</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居相談後、自宅・入所先・入院先を訪問し、ご本人の不安を聞き取りアセスメントに力を入れる事で本人の望む生活に近づけると考えております</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>本人・家族が困っている事、不安な事を一緒に考え支援する事で信頼関係も構築できると考えております</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ホームでの生活以外の選択肢はないか等を一緒に検討し、他のサービスについても紹介致しております。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>個人のできる動作能力に合わせて、負担の少ない範囲で一緒に家事活動を行い、役割を持って生活して頂くように努めております</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族で出来る事は相談し、家族としての役割を持って頂き、共に本人を支えていく体制を整えております		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人が大切にしてきた馴染みの方の面会もあります。今後もその関係が途切れないように、気軽に面会に来ていただけるように雰囲気作りに努めております	近隣地域からの入所者が多く、友人・知人の来訪がある。電話をかける事で絆を繋げたり、手紙の取次ぎも行っている。家族の協力で美容室に行かれる方、墓参りに行かれる方もいる。面会時にはゆったりと過ごせる様に、また気軽に来て頂けるように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	常に利用者同士の関係把握に努め、些細な言動や行動の変化も見落とさないようにし、孤立する事がないように支援しております		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後数年経過していましたが、今度は自分の親を入居させたいと相談を頂きました。何よりも嬉しい相談でした。今後もフォローに努めて行きます		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の意思を尊重しつつも、危険がある場合はご家族様に相談し、安全な支援方法を話し合い常に、満足できる生活を検討しております	日々の生活の中から、利用者の表情やしぐさなどから思いや意向の把握に努めている。職員は傾聴に努め思いや希望を把握する様にしている。困難な場合には本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個々の生活歴をアセスメントし、カンファレンスにて情報共有を行い、本人らしい生き方の継続ができるように努めております		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の生活リズム・排泄パターン、既往歴等を把握し、できる動作能力を見極めつつ、安心して生活ができるように努めております		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	朝夕の申し送り、定期的なカンファレンス・モニタリングから介護計画を見直し、現状に即した介護計画書作りに努めております	利用者や家族の個別の思いに応じたプランである。毎月のモニタリングでは状況・状態に応じて見直し、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気づきや情報交換を密に行ない、現状に即した介護計画書作成・見直しに努めております		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の思いはいつも同じではない 業務優先ではなく入居者様中心のケアを行う事を念頭に、その都度ケアを変更するようにしております		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	回覧版や町内会行事への参加・運営推進会議等を通じて、ボランティアを受け入れて、普段と違う雰囲気味わっていただくように努めております		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居される前の主治医を基本とし、家族の判断で主治医は決めて頂いております。必要に応じて往診に切り替える等適切に医療を受けられるように努めております	入所以前からのかかりつけ医となっているが、利用者や家族の希望で協力医療機関へ変更され、定期受診を受けている。他科受診は家族の協力支援を頂き、適切な医療を受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々のケアの中で気づいた事を看護師・医師・薬剤師に適切に報告できる体制を整えております。また、定期受診・臨時受診介助を通じて、安心して医療を受けられるように致しております		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時は安心して治療を受けて早期に退院ができるように、地域連携室との情報共有に努めております。また、外来看護師や地域連携室にいつでも相談できる体制が確立致しております		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	「重度化して来た場合における対応に関する指針」にてご家族の意向を確認し同意を頂いております。意向の変化についてはその都度対応致します	重度化や終末期に向けたホームの指針を、入所時に説明し同意を得ている。「意思確認書」も入所時に取り交している。職員は利用者や家族の意向を確認しながら、方針を共有し段階に応じて話し合い主治医や関係者と共に、チームで支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故対応については、支持母体の医師に報告したり、受診に付き添い主治医からの指導を頂いたり、必要な研修に参加し実践力を身に付けるように努めております		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>安全対策委員会を毎月開催し研修を行い、避難訓練時は地域への呼びかけを行い協力を頂いております</p>	<p>消防署立会いの年2回の訓練とは別に、自主訓練を行っている。自主訓練では、水害・地震・地滑りなどの訓練を取り入れている。訓練後は「気づき」についての話合いから反省会をしている。地域とは、災害時の協力体制も十分築かれている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	羞恥心・プライドは最後まで残ると言う基本を常に意識し、誇りをもって生活できるように努めております	法人内での研修や外部研修にも参加している。トイレでのプライバシーには特に気を付けている。職員は利用者の人格やプライドを大切に、言葉遣いや羞恥心への対応を周知徹底し、誇りやプライバシーを損ねないケアに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の意向を確認しながら、危険でない限り、自己決定はご本人にさせていただくように働きかけております		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務優先ではなく本人ペースを主体としてその日の過ごし方を決めて頂き、希望に添うようにしております		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の選ばれた衣類を着用して頂く事は、何よりも本人が安心されるので、見だしなみやおしゃれに関心を持ち続けられるように支援致しております		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その方の力量に合わせて野菜の下処理、野菜のカット、盛り付け等を分担し一緒に家事を行う楽しみを持っていただいております	利用者個々の力量に応じて、下ごしらえや食材切り・盛付けなどを手伝ってもらっている。行事食をバイキングにしたり、年1回は利用者や家族もいっしょに外食に出ている。個別で家族と外出時に外食される方もいる。食事が楽しみなものになるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる事が最大の楽しみである事を常に意識し、献立作成時は栄養バランスを考え、食べる量、嗜好の違い、嚥下状況等を考慮するように努めております		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人一人の口腔状態に応じて、毎食後の口腔ケア・歯間ブラシを使用する等して本人の出来る事を支援致しております		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	アセスメントにより排泄機能の評価やモニタリングを定期的に行い、できる動作能力を見極めて、本人の意向に添ったケアに努めております	排泄チェック表の活用や、利用者の表情・しぐさから排泄パターンを把握し、早目のトイレ誘導に努めている。自尊心や羞恥心に配慮し利用者に応じた声かけ誘導を実施している。尿意・便意があり自立でトイレ排泄される方もいる。困難な方には声かけ誘導をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便サイクルを毎日確認し、できるだけ内服に依存する事がなく、食事や運動での解消が図れるように快便を目指しております		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は本人が決定されなかなか入浴されない方、体調から中止をした方が良い事を伝えても譲られない方もあります。個々に合わせた支援を致しております	週3回が基本ではあるが、利用者の希望や身体状況に応じて柔軟な対応をしている。入浴出来ない時には清拭や足浴に変更している。入浴をためらう方には時間を変えるなどして、個々に応じた支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々に生活習慣は違うので、自分のペースで休息したり、寝る時間も自分で決めて移動されております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診後申し送り、ノートに記録し、各自が確認後サインし、お薬表に基づき与薬し、与薬後の症状等の変化にも気を付けるように努めております		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居時・後でのアセスメントや会話の中から生活歴や趣味などがわかる事も多いです。役割を持って負担なく過ごせるように支援致しております		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望に沿って戸外に出かける事は出来ていませんが、広い庭を利用し桜島を眺めながら散歩を楽しめております。外食やドライブには少人数単位でも行けるように計画致しております	日常的な散歩では、外気浴や季節を感じてもらっている。全員参加の外出では、家族の協力を得ながらの外食になる。個別では、買い物やドライブに出かけたり、家族が自宅に連れて行くなど外出が楽しみとなるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>バザーを開催しご自身で品物を選んでお金を支払う楽しみを持って頂きました。自宅に帰る時持って帰ると食器を購入された方もありました。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>携帯電話で家族に自由に通話されている方や、郵送やFAX送信時には本人にも一筆添えて頂くように心がけております</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>部屋に戻られてもすぐにホールに戻ってこられて皆さんと過ごされる時間が長い為、季節を感じる花・作品等に力を入れて居心地よい空間を目指しております</p>	<p>玄関には季節の生花が飾られている。明るく広いリビングからは、桜島が一望できる。台所は対面式で、利用者への見守りに繋げている。調理の匂いからは、利用者の五感が刺激され生活感・季節感が感じ取られる。利用者が居心地よく過ごせるよう工夫されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールで過ごしたり、部屋に帰ったりと、自分で居心地の良い場所に自由に行き来されております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に本人の使い馴染んだ物を持って来ていただき、居室の配置は危険でない限り本人・家族の意向を優先致しております</p>	<p>入所以前に利用者が使い慣れた馴染みの家具や家族写真・手作り作品を飾っている。居心地よく過ごせる配置をするなど家族と職員と一緒に心掛け工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>個々の下肢筋力に合わせて1階への新聞取り、2階への食材の借り入れ等、その日の体調を見てできる活動を検討致しております</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない